

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	総合英語演習Ⅰ (ME)	
科目基礎情報							
科目番号	0047		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	一般科目		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材							
担当教員	田中 数恵						
到達目標							
TOEIC L&R 受験に最低限必要な基本文法・語彙・表現と攻略法を習得して、スコア350突破を目指す を高める 2 リスニング能力を高める 3 リーディング能力を高める						1 語法・語彙の知識	
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	語法・語彙に関する問題を正確 (8割以上)に解くことができる。		語法・語彙に関する問題をほぼ正 確(6割以上)に解くことができる。		語法・語彙に関する問題を解くこ とができない。		
評価項目2	リスニングに関する問題を正確 (8割以上)に解くことができる。		リスニングに関する問題をほぼ正 確(6割以上)に解くことができる。		リスニングに関する問題を正確に 解くことができない。		
評価項目3	リーディングに関する問題を正確 (8割以上)に解くことができる。		リーディングに関する問題をほぼ 正確(6割以上)に解くことができる 。		リーディングに関する問題を正確 に解くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE f 到達目標 A 2							
教育方法等							
概要	本授業は、TOEIC Listening & Reading Test (以下TOEIC L&R) 各パートの攻略ポイントをまとめながら本番の形式と 同じ問題を解くことにより、初めて受験する人がTOEIC L&Rの出題傾向を把握し対処法を養うことを目的とする。文法 ・語彙・慣用表現は、よく出題されるものの中でも基礎的な事項に絞って学ぶ。						
授業の進め方・方法	テキストに沿ってパート別の重要表現・語彙・文法事項と攻略のこつを学び、練習問題を解く。解答後、うまく攻略法 に取り組めたかどうか確認しながら解法を解説する。授業には、必ずテキストの指示された箇所を予習して臨むこと。 予習・復習の際、辞書を引いてTOEIC頻出単語の意味・語法を学習してほしい。また、ネイティブ・スピーカーの会話 スピードとアメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア式発音に慣れるために、テキスト出版社の「音声ファイル無 料ダウンロード」を利用してリスニング練習を大いにしてもらいたい。						
注意点	定期試験 80% (前期・後期の中間および期末試験の平均点) TOEIC L&R 20% (12月一斉テストのスコア300未満を 70点、300～325を80点、330以上を100点とする) 特別加点 (11月以降実施で2月上旬までに結果のわかるTOEIC L&R で、スコア350以上を取得しその証明書を提出した者の最終成績に5点加点する)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	TOEICとは?		TOEICの問題構成・テスト時間・スコア・新形式問題 について		
		2週	Listening Test サンプル問題		Part 1～4 例題と攻略のこつ		
		3週	Part 1 写真描写問題				
		4週	Unit 1 Travel (旅行・出張)		Part 1 人物の動作: 1人のパターン		
		5週	リスニング セクション		Part 3 会話の冒頭部分は特に集中する 他		
		6週	Reading Test サンプル問題		Part 5～7 例題と攻略のこつ		
		7週	Unit 1 Travel (旅行・出張)		Part 5 時制		
		8週	リーディング セクション		Part 7 「目的」は冒頭からつかむ 他		
	2ndQ	9週	Unit 2 Dining Out (外食)		Part 2 WH疑問文②: Whereで場所をたずねる		
		10週	リスニング セクション		Part 4 話し手と聞き手を常に意識する 他		
		11週	Unit 2 Dining Out (外食)		Part 6 時制②		
		12週	リーディング セクション		Part 7 文書の目的を問う問題①: 冒頭をしっかり読 む 他		
		13週	復習、実践練習		読解練習、短文穴埋め問題 [文法] 練習、聴解練習		
		14週	中間試験		1～7回に学習した内容を中心に出題する。(多肢選択 法、50分)		
		15週	Unit 3 Media (マスメディア)		Part 1 光景: 受動態が使われるパターン		
		16週	リスニング セクション		Part 3 話題を意識する 他		
後期	3rdQ	1週	Unit 3 Media (マスメディア)		Part 5 能動態・受動態		
		2週	リーディング セクション		Part 7 NOT問題①: 文書に合わない選択肢が正解 他		
		3週	Unit 4 Entertainment (娯楽)		Part 2 WH疑問文④: Whyで理由をたずねる 他		
		4週	リスニング セクション		Part 4 図表問題は情報を関連づける 他		
		5週	Unit 4 Entertainment (娯楽)		Part 6 接続表現②: 文の流れをつかむ		
		6週	リーディング セクション		Part 7 文を挿入する問題 他		
		7週	Unit 5 Purchasing (買物)		Part 1 人物の位置・場所: 2人のパターン		
		8週	リスニング セクション		Part 3 店内での会話のパターンを覚える 他		
	4thQ	9週	Unit 5 Purchasing (買物)		Part 5 代名詞		
		10週	リーディング セクション		Part 7 答えを推測する問題①: 言い換えに注意する 他		

		11週	期末試験	9～14回に学習した内容を中心に出題する。（多肢選択法、50分）
		12週	答案返却など	期末試験の答案を返却し、解答解説を行う。
		13週	Unit 6 Clients（顧客）	Part 2 WH疑問文⑥：How + aで「頻度・期間・数・量」をたずねる
		14週	リスニング セクション	Part 4 未来に起こることに注意する 他
		15週	Unit 6 Clients（顧客）	Part 6 代名詞②：所有格
		16週	リーディング セクション	Part 7 意図問題①：出題形式を把握する 他

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0